

第53期

R&D

Research and development

マネジメント交流会議

『R&Dスタッフによる異業種交流、相互啓発、共同研究』

開催にあたって

R & Dマネジメント交流会議は、R & Dスタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1967年の創設以来、半世紀にわたってメンバー間の活発な研究と討議を重ねてまいりました。

第53期となる今期は、「新規事業を創出し、企業の成長と持続的発展を実現するR & Dマネジメント」を基本テーマとして活動いたします。

わが国を取り巻く環境は激しく変化していますが、いかなる状況にあってもR & Dは企業の存続と将来に不可欠であり、そのマネジメントが重要であることは言うまでもありません。半世紀に及ぶ活動が実証するように本会議は、メンバーシップを基本として互いに学び合い、R & Dマネジメントのあるべき姿を探求する場でございます。異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには各自の課題究明の絶好の機会として、皆様のご参加をご期待申し上げる次第です。

第1回例会

日時:2019年4月22日(月) 13:30~18:30

会場:「アイビーホール」(東京・表参道)

基調講演

※入会ご検討中の方は第1回例会に限り、無料で体験参加いただけます。

「我が国の科学技術政策の現状と産学連携及びイノベーションによる地域振興に向けた今後の展望」



文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 地域支援室長 **生田 知子氏**

略歴 1997年慶應義塾大学理工学部卒業後、科学技術庁入庁。2003年に米国ウェイク・フォレスト大学バブcock経営大学院にてMBA取得。フランス・パリにてユネスコ日本政府代表部書記官を務め、ライフサイエンス分野の研究振興や理数系人材育成政策などに従事。その後、人事院官民交流制度による民間企業(株東芝)への出向や、内閣府特命担当大臣秘書官などを経て、2017年10月より現職。

オリエンテーション 本会合の進め方、運営幹事紹介、情報交換会等

懇親パーティー

第2回例会

日時:2019年5月23日(木) 13:30~17:00

会場:「アイビーホール」(東京・表参道)

基本解説 「R&Dマネジメントの基本的考え方」

R & Dマネジメント交流会議 コーディネーター **高橋 富男氏**

テーマ 「企業成長に寄与するR&Dマネジメント」

～メンバー相互で知見を交流し、R & Dマネジメントを考察～

第3回例会

日時:2019年6月21日(金)・22日(土) **合宿**

「今井浜東急ホテル」(静岡県)

「メンバー各社のR&Dマネジメントの現状と課題」

～異業者各社のR&Dスタッフが抱える問題や課題について意見交流～

- ・R&Dマネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交換を希望される方々
- ・事業会社の研究・技術開発部門を中心にR&Dマネジメントに携わる方々

開催要領

- 期間** ▶ 2019年4月～2020年3月(全12回)
- 日時** ▶ 原則として年間プログラムの開催日程に沿って開催 〈13:30～17:00〉
- 会場** ▶ 東京都内会議室 * 運営上の都合により、日時を変更する場合がございます。
* 例会の詳細は、事前にメールでご案内いたします。
* 合宿および見学会は詳細が決定次第、ご案内いたします。

運営体制 ▶ 本会合の企画・運営にご参画いただきます。

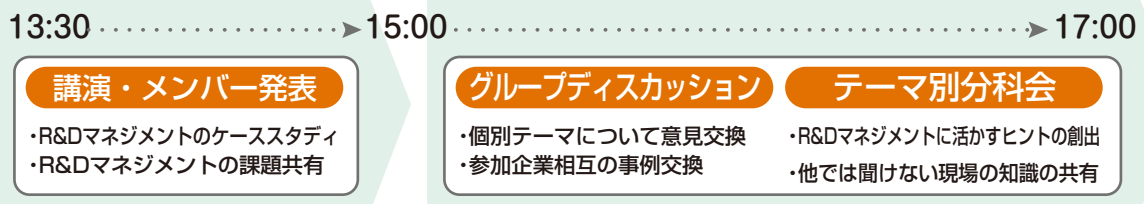
(順不同・敬称略)

運営幹事	積水化学工業(株)	L Bプロジェクト 事業開発室 企画・営業グループ長	加藤 清一
	ヤマハ発動機(株)	企画・財務本部 コーポレートコミュニケーション部 企画グループ 主管	海野 敏夫
	(株)村田製作所	技術・事業開発本部 技術管理部部長	林 幹生
	AGC(株)	技術本部 商品開発研究所 企画・管理グループ 企画チーム テーマ推進ユニットリーダー	宗吉 亮太
	オリンパス(株)	CTO 統括室 CTO 機能横断マネジメント、グローバル バイスプレジデント	堀内 勝司
アドバイザー	日本電気(株)	中央研究所 システムプラットフォーム研究所 主任研究員	弓削 亮太
	ダイキン工業(株)	テクノロジー・イノベーションセンター 部長	東 研一
	(株)資生堂	フロンティアサイエンス事業部長	植村 真樹
	トヨタ自動車(株)	未来創生センター T-フロンティア部 グローバル企画室 戦略企画グループ	牧野 玲子
	元キャノン(株)	材料技術研究所長(企業研究会 研究アドバイザー)	村井 啓一
コーディネーター	T & M研究会	元日東電工(株) 技術企画部長(企業研究会 研究アドバイザー)	六車 忠裕
	東北大学	グローバル安全学教育研究センター 特任教授	高橋 富男

年間プログラム ▶



通常例会 ▶ 通常例会は下記の構成で行います(時間配分は目安です)。



合宿研究会 ▶

異業種各社のR&Dスタッフが抱える問題や課題について相互に学び合い、知的交流を深めます。一泊二日にわたる合宿は、人的ネットワーク構築の好機です。



第1回合宿研究会(6月)

メンバー各社のR&Dマネジメントの現状と課題

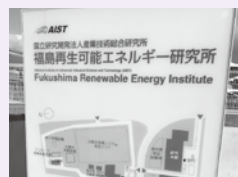


第2回合宿研究会(2月)

テーマ別分科会による集中議論

見学会 ▶

企業の研究所等の視察見学と意見交流を行います。見学会は、企業研究会が主催する他の研究交流部会と合同で開催することで、見聞を広めると共に人的ネットワークの更なる充実を図ります。



これまでの見学会

2017年/産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所(福島県)
2018年/国立大学大阪大学 産学共創本部(大阪府)



企業の競争力を高めるR&D戦略の立案

- ・ R & Dを方向付けるビジョン、経営戦略とR & D戦略の整合性
- ・ コア技術の明確化と強化、拡充
- ・ コーポレート研究と事業部門研究のミッションと連携
- ・ 将来の市場、技術予想とロードマップの作成
- ・ 「選択と集中」の技術ポートフォリオマネジメント
- ・ R & D部門のグローバル化対応

テーマ・マネジメント(探索、推進、評価)

- ・ テーマ探索の具体的方法とマネジメント
- ・ コア技術戦略の布石、融合、展開
- ・ 社会トレンドとテーマ設定の方向性
- ・ テーマの発案と評価、推進のマネジメント
- ・ 研究フェーズと開発フェーズのマネジメントの相違

R&Dマネジメントの役割と目的

- ・ R & Dの目的とイノベーション
- ・ 企業とイノベーション創出
- ・ R & Dでのリーダーシップとマネジメント
- ・ 勝てるR & D戦略、差別化戦略、知財戦略
- ・ 求められるR & Dマネジメント
(経営にインパクトを与える成果を得る仕組みづくりとサポート体制の整備)
- ・ R & D部門における企画の役割

R&D成果の事業化と新規事業創出

- ・ 事業価値を考えたR & D成果の活用
- ・ R & Dとマーケティング、オープンイノベーション
- ・ プロジェクト推進とゲート評価
- ・ 研究から開発、事業化へのプロセス、死の谷の克服
- ・ 新規事業創出の要件
- ・ ビジネスモデルの探求とテーマ創出

組織と人材のマネジメント

- ・ 組織を不活性化させない仕組みづくり
- ・ 創造的組織・風土の醸成
- ・ カオスと秩序のバランス
- ・ 創造的人材の発掘と育成
- ・ スペシャリスト、プロデューサー、
リーダーの育成施策

R & Dマネジメント交流会議の特徴と方針

特 長

- 1.異業種交流を深めることにより、業種・業界の壁を越えた新しい発想や手法を学ぶことができ、なおかつ社外の**ネットワーク**を広げ、**パーソナルバリュー**の向上が図れます。
- 2.R&Dマネジメントの新しい流れや考え方、実践手法について、外部ゲストやメンバーによる事例研究により**最新の情報を収集**できます。
- 3.情報交換だけでなく、その背景にある実務に直結した**ノウハウの交換**が行えます。また、必要に応じて**メンバーの相互訪問**も行えます。

基 本 方 針

- 1.会の目的達成のため、可能な限りギブアンドテイクをモットーに参画する。
- 2.本音ベースの議論を深めるため、互いの守秘義務を遵守する。
- 3.企業規模、役職、経験に関係なく積極的に参加する。

日程	研究テーマ/講演・討議内容日程
----	-----------------

第1部 課題設定・基礎編 ～メンバー交流の促進と問題意識の共有、各自の課題設定

第1回 4/22(月)	■ 基調講演 「我が国の科学技術政策の現状と産学連携及びイノベーションによる地域振興に向けた今後の展望」
第2回 5/23(木)	■ メンバー交流会 【ディスカッションテーマ】「企業の成長に寄与するR&Dマネジメントとは」
合宿 第3回 6/21(金)・22(土)	テーマ「メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題」
第4回 7/25(木)	■ 主な研究討議テーマ (例) テーマ・マネジメント(探索、推進、評価) 競争力を高めるR&D戦略の立案 R&D成果の事業化と新規事業創出 R&Dにおける組織と人材のマネジメント、他
第5回 8/22(木)	

第2部 課題解決・発展編 ～関心テーマ別に分科会を編成し、各自の課題解決に向けて継続的に議論

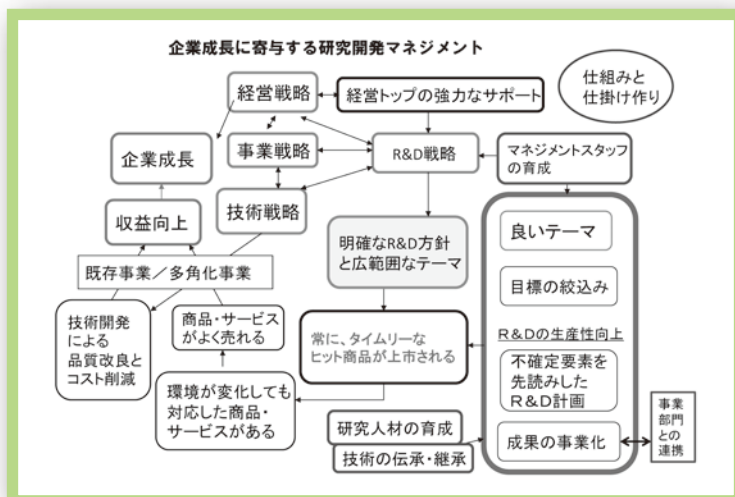
第6回 9/19(木)	■ 関心テーマ別分科会 【分科会とは】 分科会は関心テーマ別に固定メンバーによるチームを編成し、複数回にわたり集中的に議論します。異業種各社のメンバーが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト、具体的な実践方策を研究します。 【ご参考】52期分科会テーマ 1. 新規テーマの探索・企画とそのため仕組み・施策 2. 事業化に結び付けるためのR&Dテーマのマネジメント 3. 挑戦するR&D現場を目指す仕組み・施策
第7回 10/17(木)	
第8回 11/21(木)	
第9回 12/19(木)	
第10回 201/16(木)	
合宿 第11回 214(金)・15(土)	
第12回 3/19(木)	■ 分科会活動報告会 * 9月からの議論の成果を各チームからご発表いただきます。

見学会

見学会 10月or11月	企業・大学・公的機関の研究所等の視察見学と意見交流
-----------------	---------------------------

「R&Dマネジメント交流会議」におけるR&Dマネジメントの体系図

出典 高橋富男 2003年東北大学学位論文



前期の活動内容 (2018年4月～2019年3月)

第1部<基礎編>

*所属・役職は講演時のものです。

第1回 4/26(木)	『我が国の科学技術戦略および産学連携の動向と今後への期待』 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) 金子 博之 氏
第2回 5/17(木)	【メンバー交流会】 企業の成長に寄与するR&Dマネジメントとは
第3回 6/22(金)・23(土)	【合宿】 グループディスカッション『メンバー各社のR&Dマネジメントの現状と課題』

第2部<応用編>

第4回 7/19(木)	『企業が生き残るためのR&Dマネジメント』 元キヤノン(株) 材料技術研究所長 村井 啓一 氏
第5回 8/23(木)	『効率的な新規事業のマーケティング』 ゼオン化成(株) 大島 正義 氏
第6回 9/13(木)	『What's DAIKIN ～ダイキン工業のR&Dマネジメント』 ダイキン工業(株) 東 研一 氏
第7回 10月	【見学会】 国立大学法人 大阪大学 「産学共創本部」(大阪府吹田市)

第3部<実践編>

第8回 11/15(木)	分科会討議スタート
第9回 12/20(木)	『研究開発人材マネジメント』 T & M研究会 代表 六車 忠裕 氏 (元日東電工(株) 技術企画部長)
第10回 19 1/10(木)	『オリンパスの技術・人材マネジメントの仕組み』 オリンパス(株) 堀内 勝司 氏
第11回 2/1(金)・2(土)	【合宿】 分科会討議 講演 『R&Dマネジメントの最近の動向』 東北大学大学院 教授 長平 彰夫 氏
第12回 3/14(木)	【分科会活動報告会】

前期(第52期)メンバー

AGC(株)	商品開発研究所 企画・管理G テーマ推進ユニットリーダー	T & M研究会	元日東電工(株)技術企画部長 企業研究会 研究アドバイザー
AGC(株)	技術本部 商品開発研究所 企画・管理グループ 企画チーム 主席	電気興業(株)	技術開発統括部 電気通信開発部 専任課長
アサヒグループホールディングス(株)	プロセス開発研究所 生産技術開発部 部長	(株)デンソー	基盤ハードウェア開発部 企画開発室 室長
味の素(株)	バイオ・ファイン研究所 研究管理部企画推進グループ	東亜合成(株)	研究統括部 名古屋オフィス 主査
出光興産(株)	先進技術研究所	東芝テック(株)	リサーチ&デベロップメントセンター 企画担当 グループ長
オムロン(株)	技術・知財本部 企画室 戦略推進課 主査	国立大学法人東北大学	リーディングプログラム推進機構 グローバル安全学教育研究センター 特任教授
オリンパス(株)	イノベーション推進室 技術戦略部 部長	国立大学法人東北大学	大学院工学研究科技術社会システム専攻 技術経営分野 教授・経営学博士
オリンパス(株)	技術開発統括本部 RD人材強化部 課長	トヨタ自動車(株)	未来創生センター-Tフロンティア部 グローバル企画室戦略企画グループ 主幹
(株)カネカ	バイオテクノロジー研究所(企画) 獣医師 医学博士	豊田合成(株)	製品開発センター WS技術部 WS開発室 室長
元キヤノン(株)	材料技術研究所長 企業研究会 研究アドバイザー	ナミックス(株)	技術開発本部 技術管理グループ グループマネージャー
キリン(株)	R & D本部 研究開発推進部 主幹	日本電気(株)	システムプラットフォーム研究所 主任研究員
キリン(株)	R & D本部 研究開発推進部 主査	日本電気(株)	システムプラットフォーム研究所 主任研究員
SANKYO(株)	商品企画部 部長	(株)日本触媒	事業創出本部 研究推進部 主任部員
JXTGエネルギー(株)	機能材カンパニー 機能材研究開発部 機能材研究企画グループマネージャー	パナソニックエコシステムズ(株)	R & D本部 技術戦略部 技術企画課 主務
JSR(株)	研究開発部部長	パナソニック(株)	イノベーション推進部門 テクノロジーイノベーション本部 テクノロジー戦略部管理課
(株)ジェイテクト	研究開発本部 研究企画部 研究企画室 室長	(株)ファンケル	総合研究所 イノベーション研究センター センター長
シスメックス(株)	技術戦略本部 R & D推進部 部長	ブラザー工業(株)	技術革新部 主任研究員
(株)資生堂	フロンティアサイエンス事業 部長	(株)ブリヂストン	生産技術戦略部 工場競争力戦略ユニット ユニットリーダー
(株)資生堂	インキュベーションセンター 再生医療開発室 マネージャー	(株)ブリヂストン	生産エンジニアリング業務部 生産エンジニアリング管理ユニット ユニットリーダー
昭和シェル石油(株)	R & D戦略部 部長	古野電気(株)	R & D統括センター 企画室R & D企画担当課長
昭和シェル石油(株)	R & D戦略部 中央研究所長	(株)村田製作所	技術企画・新規事業推進統括部技術管理部 部長
積水化学工業(株)	LBプロジェクト事業開発室 企画・営業グループ長	(株)東北村田製作所	事業企画部 事業企画課
積水化学工業(株)	R&Dセンター 開発推進センター 副主任技術員	森永製菓(株)	未来価値創造センター 第一グループ 副主任研究員
ダイキン工業(株)	テクノロジー・イノベーションセンター 担当部長	(株)ヤクルト本社	事業戦略プロジェクトチーム 主事
太陽誘電(株)	開発研究所 開発企画部 課長	ヤマハ発動機(株)	企画・財務本部 コーポレートコミュニケーション部 企画グループ 主管
(株)タムロン	研究開発センター 研究開発課	ヤマハ発動機(株)	先進技術本部 技術企画統括部 技術企画部 技術企画グループ 主務
(株)椿本チエイン	開発・技術センター 研究開発部 解析技術開発課 課長	(株)LIXIL	Technology Research本部 研究戦略部 戦略企画推進G 戦略企画T チームリーダー

昭和23年5月、敗戦後の混乱と荒廃の真只中に、当時の有力鉄鋼メーカー中堅幹部(主に経理部門)を中心にして、数人の学者及び経済安定本部調査課の人々からなるインフォーマルな研究懇親会が開かれました。

その後、自動車、造船、紡績、製紙工業などのメーカー有志も加わってくる中で一定の事務局機構を持つフォーマルな会員相互の研究機関への構想が打ち出され、同年12月7日、経済安定本部長官邸で正式名称を「企業研究会」として創立総会が開催されました。

当初、任意団体として発足した本会も研究活動の活発化と会員の増加に並行し、昭和31年3月31日通産大臣認可の社団法人に組織替えがおこなわれ現在にいたっています。

当会は平成25年に創立65周年を迎え、発足時から受け継がれた産・官・学共同による地道な実践研究の伝統は、現在40余りの研究交流事業やビジネス・スクールでの人材養成プログラムなどに見られるとおりますます強化され、比類なき研究機関として期待を集め、それを中心に多様かつ広範な活動が展開されています。

当会の歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経営・福祉社会の発展を担う企業の役割と軌を一にしていくものといえましょう。

〔役員・監事〕

会 長

小枝 至

日産自動車(株)

元) 共同会長

副 会 長

有馬 利男

一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

代表理事

//

伊藤 一郎

旭化成(株)

名誉会長

//

葛岡 利明

(株)日立製作所

業務役員専務

//

広瀬 道明

東京ガス(株)

取締役会長

副会長・専務理事

石山 進

一般社団法人企業研究会 (常勤)

代表取締役副社長

理 事

榮 敏治

新日鐵住金(株)

代表取締役最高経営責任者

//

鈴木 洋

H O Y A (株)

社外取締役

//

津田 晃

(株)西島製作所

事務局長 (常勤)

//

内田 幸伯

一般社団法人企業研究会 (常勤)

客員

//

池田 朋之

一般社団法人企業研究会

取締役社長

監 事

谷口 昌己

公認会計士

代表取締役副社長

//

森田 和一

パナソニック(株)

代表取締役副社長

評議委員会議長

牛尾 文昭

東芝ビジネス&ライフサービス(株)

代表取締役副社長

評議委員会副議長

松本 佳久

元) 出光興産(株)

代表取締役社長

評 議 委 員

天野 里司

(株)長谷工不動産ホールディングス

代表取締役社長

//

太田 克彦

日鉄ケミカル&マテリアル(株)

代表取締役社長

//

奥田 好秀

アサヒグループホールディングス(株)

専務取締役兼専務執行役員

//

鹿島浩之助

日本システムウエア(株)

取締役監査等委員

//

川村群太郎

ダイキン工業(株)

特別顧問

//

木村 隆秀

古河電気工業(株)

取締役兼執行役員専務

//

小島喜代志

日立キャピタル(株)

取締役

//

杉岡 直人

アヴァンセ・マネジメントコンサルティング

代表 / 城西大学経営学部 教授

//

田中 恭代

旭化成(株) 人事部付シニアマネージャー

代表取締役社長

//

玉生 弘昌

元) 旭化成アマダス(株)

代表取締役会長

//

長尾 裕

(株)アラネット

代表取締役社長

//

美野川久裕

ヤマト運輸(株)

代表取締役社長

//

羽藤 秀雄

キヤノン(株)

執行役員

//

吉武 博通

住友電気工業(株)

常務取締役

公立大学法人首都大学東京 理事 / 国立大学法人筑波大学 名誉教授

申込要領

<事業コード：190028>

会 費

1名につき

正会員

291,600円

(本体価格 270,000円)

一 般

324,000円

(本体価格 300,000円)

*資料代・通信費等を含みます。但し、合宿研究会他、特別会合は別途実費をご負担いただけます。
*分割、次年度のお支払い等可能です。お気軽にご相談ください。

《体験参加について》

第1回例会(4/22)は当交流会議の雰囲気などをご覧いただく為、入会をご検討中の方は無料でご参加いただけます。

申込方法

以下 1 2 のいずれかの方法でお申込ください。(体験参加も同様です)

1 企業研究会ホームページ内 申込フォームより

企業研究会 R&D マネジメント交流会議

検索

2 担当者へのメール (以下項目を担当：木村 kimura@bri.or.jp まで直接ご送信下さい。)

①御社名 ②所在地 ③参加者お名前 ④ご所属・お役職 ⑤E-mail ⑥TEL ⑦正式参加 or 体験参加

*正式参加の方には、折り返し請求書をお送り致します。

なお、ご記入いただいた個人情報には、「第53期 R&Dマネジメント交流会議」に関する事務連絡および弊社主催事業のご案内に利用させていただきます。

一般社団法人 企業研究会 「第53期 R&D マネジメント交流会議」 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル2階

TEL：080-2102-1606 (木村直通) TEL：03-5215-3511 (代表)

E-mail：kimura@bri.or.jp

担当：木村